

地域密着型サービスの自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	祭りの参加、運動会、芋掘り、など地域の行事ごとへの参加等は行っている。	○	今後、ミーティングや運営推進会などで話し合い、色々な事を検討していく。
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ゆっくり楽しくを、もつとくに日々努力を行っている。 日課や行事優先でなく、利用者様優先で過ごして頂いている。	○	ミーティングなどで理念についての話し合いを行っていく。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居された際、説明したり面会時に様子を伝える。	○	今後多くの人にわかって頂けるよう検討していきたい。
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	見学者の受け入れ、散歩の方と会話、挨拶、ごみ置き場の清掃。	○	今後、皆で話し合い地域の方が気軽に、来ていただける様にしていきたい。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	働きかけは行っているが、地域の人参加出来ない方も多いため、何回もお願いするが難しい。	○	敬老会、老人会への働きかけなど、これからも行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会を利用し働きかけを行う。 認知症についての勉強会。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価後、ミーティングを活用し、検討会を実施。危険物などの保管場所、事故報告後の検討会及びサイン。	○	今後も全員で取組んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価実施後の、調査表参考に説明し質問、意見を聞く。その他日々の活動内容を説明し、意見等を頂いている。	○	2カ月に1回の計画を行っているが、実務多忙の為計画通りに実施できていないため、今後は実施できる様にしていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今後検討していきたい。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ミーティングにて、勉強会を行っている。 成年後見制度の活用をされている方があり、必要に応じ関係者で検討していきたい。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	毎朝の申し送り、ミーティングにて勉強会を行っている。声のかけ方、介護の行い方、入浴時全身のチェック。	○	ミーティングや必要に応じ行う。声かけの仕方や対応の仕方を今後も続けていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○	今後も家族の方利用者様の話を聞き納得されての契約をしていきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○	利用者様の話や訴えている事を聞く、又利用者様、職員での話し合いを随時行い改善、解決行っている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	○	今後も、定期的に実施していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○	まだ、意見やこうして欲しいと言う方が、少ない為今後意見を言っていただけるようにしていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○	改善はされてきたが、不十分な為今後も皆で検討していきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	○	今後も必要に応じ、勤務時間の調整や職員の確保の検討をしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様への負担がないように、職員が心がけしながら対応を行っている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一定期間の老健での介護技術の研修、認知症の方の対応の仕方の研修を実施。施設内で認知症の対応の仕方等の研修会が毎月実施され参加している。	○	今後も色々な研修参加をしていきたい。 施設内研修の実施。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的な、他のグループホームとの交流会の実施している。	○	今後も色々検討し実施していく。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	色々レクレーションや飲み会は、行われているが職員体制上困難。（職員、派遣職員）	○	今後 関係者との話し合いが必要。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	他に事業所があり、当施設のみ実施は難しい。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○	利用者様の話や訴えている事を聞き、できる範囲で要望や困っていることへの対応を行っている。不安な事に対しては、そのつど話を聞き解決している。今後も素早い対応をしていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○	今後も常に心がけて、家族の方が安心出来る様にしていきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○	今後も実施していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	○	今後も家族や利用者様と話し合いながら行っていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○	今後も皆で努力していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方と協力し、利用者様の要望に応じている。（外出、外泊、行事への参加）	○	今後も色々な場面で、家族の方の意見や協力をして頂けるように心がける
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の方と利用者様が、良い関係が保てる様支援している。家族関係の修復もできる範囲で支援している (手紙、葉書)	○	今後も色々な場面で、家族に声かけし参加していただける範囲で協力して頂く。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	定期的に電話して頂く 面会時一緒にお茶や食事をしていただく 外出や外泊をしていただく	○	今後も色々検討し行って行きたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う人同士のテーブルのセッティング。 困難な方は、職員が間に入りみんなで過ごせる様にしている。	○	常に状況を把握しなじみの関係作りを行っていききたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	暑中見舞い、年賀など便りを出している。 遊びにこられたりしている。	○	今後も心がけて行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○	本人、家族の意見を、取り入れられるよう努力しているが、困難なケースも多々ある為、検討し解決していけるようにする
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○	今後も今までの暮らしや習慣、本人の意見を聞きながら安心して日々の生活が送れるように心がけていく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○	常に職員一人一人が状況の把握し、状況にあわせた対応が出来る様にしていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	○	家族の意見も必ず聞く様にしているが、今後家族を交えたカンファレンスの実施に向け準備中。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○	今後は、関係者でのカンファレンスの実施も検討していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別に一日の様子の記録を行っている。記録を参考にして介護計画の見直しやケース検討会を行っている。	○	職員一人一人が状況を把握し記録出来る様にしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の希望により、関係者との話し合いし対応している	○	ケースにより併設の事業所や施設を利用していきたい。今後も行っていきたい。
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	推進委員会を開催して、役員の方と取り組んでいる。	○	地域の方と今以上の幅広い支援を行って行きたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	状況に応じ、家族の要望や意見を聞いた上で関係者との話し合いをおこなっている。	○	状況に応じ行って行きたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在まだ必要としていない	○	必要があれば実施していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族や本人の希望に合わせ、状況に応じ家族の付き添いや職員対応している。	○	今後も現在と同様に、家族の方や本人の希望を取り入れていきたい。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的な受診及び本人の訴えに対し医師、看護師より本人と話して頂く。状態報告、相談を常に行っている。	○	状態報告や、相談を随時行い指示をいただいている。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	色々なアドバイスを頂いたりしている。又利用者様の話を聞いて頂いたりしている。	○	今後も、良い関係作りを心がけていきたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時サマリーを作成し情報の提供を行う 入院時、定期的に家族及び関係者より、状態を聞く様にしている	○	今後も、入院時、定期的に家族及び関係者より、状態を聞く様にしていく
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在ターミナルケアは実施していないが、段階に応じ家族や医師ケースワーカーとの話し合いをおこなっている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在ターミナルケアは実施していないが、状況に応じ関係者との話し合いを行い、今後の方針を検討している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	時間をかけ家族の方、医師や関係者間で定期的に話し合い本人のダメージを少なくできる様に努めている。	○	本人や家族との、納得行く話し合いを行っていく。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについては、入社時に説明し誓約書に署名捺印を頂いている。 言葉かけには常に気を付け接している。	○	今後も、介護技術の向上、対応の仕方の取得に努めていく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	買い物、掃除、創作、家事作業や外出など本人の意思決定が出来るよう配慮した対応をこころがけている。	○	今後も個人の希望、意思決定が出来る様に配慮していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や状態に合わせ、ゆっくり過ごして頂いたり、自分の行いたい日課への参加をして頂く。	○	常にその日の状況や体調、希望に合わせた対応を心がけていく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	パーマ、毛染め、なじみの店に行っている。 衣類も、店と一緒に出かけ、本人の好みを自分で選べるようにしている。	○	今後も個人の希望に応じ対応していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを作成する際 好みの物、食べたい物を聞く様にしている。時々スーパーに出かけ、好みの弁当を選んでいただく。好みに合わせ献立の変更を行う。全員での外食、気の合う人での外食	○	今後も出来る限り、利用者様の意見や要望を取り入れていくようにする。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒は 行事や曜日設定し行っている。おやつは、買い物にいった際、本人に選んで頂く。煙草は、職員が管理し、本人の希望された際わたす。 (現在飲酒、喫煙の方はいらっしゃらない)	○	利用者様の状況に応じ対応していく。
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来る限り、布パンツにての対応で行い、必要に応じ排尿パターンをとり、職員で話し合い、個人に合った対応をおこなっている。	○	できる限りトイレでの排尿や布パンでの対応を行っていく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	出来る限り、本人の希望どうりに近づけられる様に努力はしているが、職員やその日の状況に、あわせる事が多く見られる。	○	出来る限り、本人の希望どうりに近づけられる様に、検討していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	睡眠不足の方には昼寝をして頂く。眠れない方にはお茶を飲みながら会話してすごして頂く。全体的に疲れが見られる時は、職員も一緒に茶話会を行ったりして、ゆっくりすごす様にしている。	○	状況に応じ対応していく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	座っても出来る作業、皆と楽しんで、出来る作業(味噌作り等の保存食作り、炊事作業、掃除、洗濯物干し、たたみ) 散歩、ドライブ、フーセンバレー、ゲーム。 歌、踊りなどを観に出かける。	○	一人ひとりの力が発揮出来る役割作り、レクリエーションを行っていくとともに、ストレスを貯めないように気をつけ支援していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望で、買い物を行い支払いをして頂く。ぶどう狩り等で、家族えのお土産の購入。	○	今後買い物の日を検討し、数人ずつで出かけ、品物を選び支払いまでできるよう、計画し実行していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	今日は何処に連れて行くと、毎日の様にいわれる。 月に何回か、全員で外出を行ったり、数人ずつ何人かに分け全員出かけられる様に対応している。季節に応じ散歩も取り入れている。	○	できる限り外に出かけていけるようにしたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	定期的に計画し出かけている。 (温泉、墓参り、汽車に乗る、花見) 家族参加の焼肉、焼いも、鮎焼。	○	今後も利用者さまの希望を取り入れ色々な事を計画し行っていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望にて電話したり、手紙を書いたりしている。	○	本人の希望に合わせた対応、及び定期的な電話を家族の方に働きかけていく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	一緒に食事やお茶を飲んでいただく。 居室で、家族、知人と過ごして頂いている。	○	今後も家族や馴染みの方が気軽に来ていただける様な雰囲気作りに心がける。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に 拘束しない工夫で対応している。 (居間で休んで頂く) 点滴施行中は、常に見守り出来る場所で行う。 (対応する職員が付き添う)	○	今後、色々なケースでも拘束しない介護方法を話し合い実施していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	立地条件の都合上、門のみ施錠を行っている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者様の所在確認をおこなっている。確認する際他利用者にきずかれない様に所在確認をおこなっている。	○	常に利用者様の所在確認をさりげなくおこなう。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	状況に応じて対応している（ハサミ、つめきり、石鹸、化粧品）	○	その都度、検討し状況に応じ対応していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	誤薬の防止の為、入れ物、色分け、日付けの記入。 (準備時の確認 投薬時の確認 投薬後の確認) 事故防止委員会又全職員での検討会の実施。	○	そのつど状況把握、原因等を話し合い事故防止に努める。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	状況に応じ、研修会や勉強会を行っている。	○	今後色々なケースにスムーズに対応していける様に訓練、定期的な勉強会を検討していく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併設の施設、病院との協力で避難訓練の実施。 毎月のミーティングで、避難訓練、通報訓練の実施や話し合い。	○	常に色々災害時の対応策を話し合いしたり、実際に訓練していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家庭に近い形のケアサービスを提供しているが、色々なアクシデントが起きた際には、誠意をもった話し合いをおこなっている。	○	リスクマネジメントの研修会に参加して、全職員で共通した知識を身に付けていきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェック、毎朝、夕方の申し送り。 申し送りノートの活用。 体調異常の場合、随時併設病院に報告し、対応行っている。	○	体調の異常の早期発見し対応をしていく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院より、個人別の薬の説明書発行して頂く。 新しく追加された薬は、申し送りノートに記入し、職員全員に伝達行い、様子観察し病院への申し送りを行っている。	○	職員全員が周知し理解していくようにしていく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操、食べ物の工夫(繊維質の食材、ヨーグルト) 個人にあう 便秘薬の飲用(医師の指示)	○	なるべく食事の工夫に心がけし、体を動かせるように働きかしていく
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝、昼は声かけ促し、夜間は個人に合わせて対応、週一回ポリデント施行。	○	個人の状況に応じ口腔内の清潔の維持を行っていく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量のチェック。 体重測定、高カロリー食の活用。 ミキサー、刻みでの対応、食事介助。	○	段階や個人の状況に応じ対応していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	夜間、次亜鉛酸ナトリウム５％液で、手すり 浴室床、トイレ床等を拭く。 こまめな清掃の実施。 こまめな手洗い、等マニアル実施。	○	今後も、感染症についての勉強会を定期的に行い、職員全体で取り組んでいく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	作る時間を考える、残り物の破棄。 賞味期限の厳守、十分な過熱処理、害虫駆除、常に手洗いの施工、調理器具の消毒。	○	常に季節や食材の鮮度及び調理に気をつけると共に、調理器具等を清潔に心がけるように徹底していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇を作る、花を絶さない様に心がけ、気軽に出入りできる雰囲気作りを心がける。	○	色々な意見を取り入れ検討していく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	座布団、ベンチ、ソファ、季節ごとの飾りの活用。 状況により、ローカ、玄関、居間の工夫をしている。	○	利用者様、家族の方の意見も取り入れ今後も色々な事を工夫していきたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の隅に椅子を置く ベランダの活用 気の合う人や、一人で外気浴や散歩、を行っている	○	これからも、出来る限り利用者様の落ち着ける空間作りを、考えていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具類、家族がいつでも泊まれる様に 配慮している。	○	これからも利用者様の、過ごしやすくしていただ ける様な部屋作りを行っていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう 換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	定期的な換気、こまめな温度の調整、布団、衣替 え等。	○	今後も、個人の状況に合わせた対応を心がけてい きたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	ポータブルトイレ、椅子の活用。 ベットの位置、電気のひもの調整。 トイレ内に尿取り等を置く。	○	今後も、個人の状況に合わせた対応を心がけてい きたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	歩行杖、個人に合った履き物、居室、トイレの目 印、風呂ののれん。	○	個人のその時の状況に、合わせた対応を心がけ、 自立を促せるよう努力していきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ベランダ、庭での食事、ティタイム、及び外気 浴。	○	今後も、外観に恵まれているので、多いに活用し たい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

なるべく、家庭生活に近い形での生活を送って頂けるように心がける。体調やADLの維持。
季節感のある生活、地域との交流、ドライブ、外食、買い物に出かける。